利用案内

開館時間:午前9時から午後5時まで

(最終入館は午後4時30分まで)

休 館 日:12月29日から翌年の1月3日まで

: 月曜日 (祝日・休日の場合は翌日)

観覧料:無料(特別展示を行う場合は、展示内容に応じ、

観覧料を徴収する場合があります)

願しい

- ・展示資料には、手を触れないでください。
- ・展示室内では携帯電話での通話はご遠慮ください。
- ・撮影禁止マークの展示資料の撮影及びフラッシュ撮影は、 ご遠慮ください。また、三脚や自撮り棒の使用もできません。
- ・展示室内での飲食はご遠慮ください。
- ・敷地内での喫煙はご遠慮ください。
- ・その他スタッフの指示に従ってください。

面 入□▶ 研修室 事務室 作業室 白動ド 展示ロビー 企画展示室 自動ドア 常設展示室 自動ドア

アクセス

1 公共交诵機関

【一ノ関駅より】

- (1) JR 一ノ関駅より JR 大船渡線で JR 気仙沼駅まで約1時間20分
- (2) JR 気仙沼駅より JR 大船渡線 BRT で陸前高田駅まで約40分
- (3) JR 陸前高田駅より徒歩約1分

【花巻空港より】

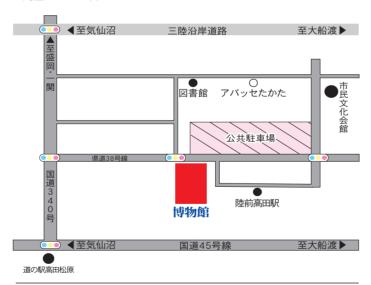
- (1) JR 花巻空港駅より JR 東北本線一ノ関行きで JR 一ノ関駅まで約1時間
- (2) JR 一ノ関駅より JR 大船渡線で JR 気仙沼駅まで約1時間20分
- (3) JR 気仙沼駅より JR 大船渡線 BRT で JR 陸前高田駅まで約40分
- (4) JR 陸前高田駅より徒歩約1分
- ※ なお、花巻空港から自動車をご利用の場合、県道286号等を経由して 約1時間30分

2 白動車

- ・三陸沿岸道路陸前高田 IC より約5分
- ・釜石道宮守 IC より国道107号・340号経由で約50分
- ・東北道一関IC より県道19号、国道343号・340号経由で約1時間20分
- ※上記交通手段の所要時間などはおおよその目安時間です。
- ご利用の際は、最新の時刻表等をご確認のうえお出かけください。 ※駐車場はアバッセたかた前の公共駐車場をご利用ください。

3 タクシー

- ・㈱気仙タクシー 0 1 9 2 - 5 5 - 3 2 4 1
- ・高田タクシー街 0192-55-3118



陸前高田市立博物館

〒029-2205

住所:岩手県陸前高田市高田町字並杉300番地1

TEL: (0192) 54-4224 FAX: (0192) 54-4225



陸前高田市立博物館

RIKUZENTAKATA CITY MUSEUM





9 発見の部屋



陸前高田市の自然や歴史、文化などについて遊びながら学ぶことのできるコーナーです。

8 貝たちの部屋



世界各地から集めた約2,000点の貝類標本を展示します。

7 よみがえる博物館



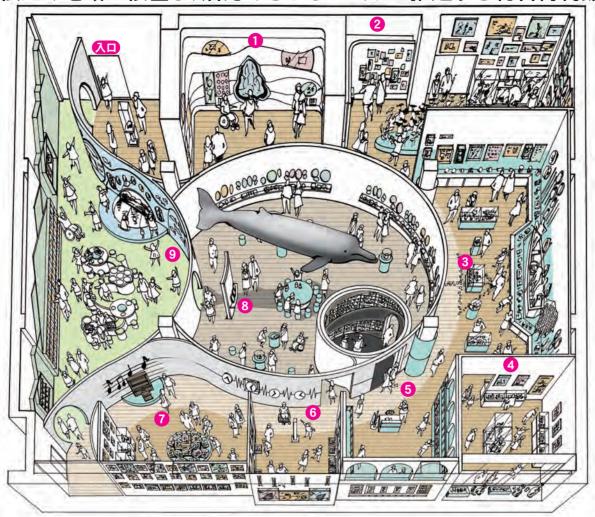
被災した文化財の救出と、全国の博物館などの協力によってよみがえりつつある過程を、安定化処理や修復の技術とともに紹介します。

6 宿命とともに生きる



陸前高田を襲った津波の歴史と教訓を 紹介します。

陸前高田の豊かな自然・歴史・文化を、震災の記憶とともに未来へ伝え、地域に根差し、活力あるまちづくりを推進する総合博物館



5 博物学の世界



本市の博物学者である鳥羽源蔵、 その愛弟子・千葉蘭児の業績や貴重なコレクションを紹介します。

4 資料が語る陸前髙田の歴史



陸前高田の歴史や民俗を物語るうえで欠かすことのできない様々な 資料を展示します。

1 大地の成り立ち



日本列島の成り立ちを知る上で、重要な 地域である陸前高田の大地。 岩石や化石標本とともにその生い立ち をたどります。

2 奇跡の海 三陸



魚の王国と呼ばれる三陸の海、そして 豊かな海を支える陸前高田の山から 川・海への生物の多様性を四季と環境 とともに紹介します。

3 海をあがめ 海にあらがわず 海と生きる



広田湾周辺に広がる貝塚をとおして縄 文の海の豊かさを伝えるとともに、その 中から発達してきた漁撈用具を使用法 と合わせて紹介します。